

Astemoダイアグノスティックツール HDM-9000ソフトウェアバージョンアップ情報

ソフトウェアバージョンアップ手順は下記リンクをクリックして参照ください。

[HDM-9000ソフトウェアバージョンアップ手順](#)

※:「インターネットへの接続が確認できませんでした」と表示される場合は本書の2ページ目を参照してください。

«マツダ»Ver.6.73

■ CX-60(KH5P-200001～、KH3P-200001～)、CX-80(KL3P-100001～)で下表の内容で診断、データモニターに対応しました。

対象システム	診断	データモニター
PCM(パワートレインコントロールモジュール)	○	○
ECM(エンジンコントロールモジュール)	○	
OBC(充電制御ユニット)	○	
BPS(バックアップ電源)	○	
TCM(トランスミッションコントロールモジュール)	○	○
DSC(ブレーキ)	○	○
SAS(エアバッグ)	○	○
EPS(電動パワーステアリング)	○	○
FSC(フロントセンシングカメラ)	○	○
VCM(ビークルコントロールモジュール)	○	○
FR(フロントレーダー)	○	○
ALH/ASF(ヘッドライト)	○	
FSR(フロントサイドレーダー)	○	
DASH-ESU(エアコン)	○	○
BCM(ボディコントロールモジュール)	○	
ISB_AMP(車両近接警報)	○	○

※車両により対応不可となる場合があります。

■ CX-60(KH5P-200001～、KH3P-200001～)、CX-80(KL3P-100001～)で下表の内容で作業サポートに対応しました。

対象システム	追加した作業サポート
ABS(ブレーキ)	● DSC横Gセンサーの初期設定 ● DSC縦Gセンサーの初期設定 ● DSC圧力センサーの初期設定 ● DSCヨーレートセンサーの初期設定
FSC(フロントサイドカメラ)	● 走行エーミング ● 静止エーミング ● FSC動作履歴の読み出し
ALH/AFS (ヘッドライト)	● ヘッドライトレベリングセンサーの初期設定 ● ヘッドライトレベリングアクチュエーターの強制駆動
FR(フロントレーダー)	● 走行エーミング
VCM(ビークルコントロールモジュール)	● VCM動作履歴の読み出し

※車両により対応不可となる場合があります。

■ データモニターの初期化中の進捗状況をプログレスバーで確認できるようにしました。

«スズキ»Ver.4.78

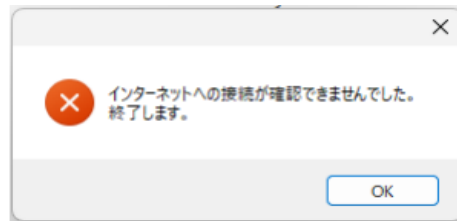
■ 2014年3月～2020年ごろの車両を対象に下表の内容で作業サポートを追加しました。

対象システム	追加した作業サポート
ABS/ESP	● 減圧・増圧動作点検 ● センサー一括校正

(次ページに続きます)

«「インターネットへの接続が確認できませんでした」と表示された際の対応について»

PC上でアップデートツールをクリックして下図のメッセージが表示された際は、下記の1項または2項をご参照の上、アップデートツールのバージョンアップを行ってください。



1.2025年5月30日～2025年9月30日までに診断ソフトのバージョンアップをされているユーザー様

下記リンク先に掲載している手順書の1～2ページの操作を行ってください。

[ダイアグノスティックツールのダウンローダーアップデート作業に関するエラーメッセージ表示について](#)

2.新規ユーザー登録を2025年5月29日以前に行い、かつ、2025年9月30日まで診断ソフトのバージョンアップをできていなかったユーザー様

下記リンク先に掲載している手順書の操作を行ってください。

[HDM-9000ダウンローダーのアップデート手順](#)